キラリ光輝人 ひかりびと 131

積み重ねた努力を自信に、全国制覇を目指す

第47回全国高等学校選抜自転車競技大会 男子個人ロードレースの部 8位入賞

大澤 礼寛 さん

おおさわ・あやのり 16歳 ＝駅前一区＝

平成19年生まれ。盛岡農高２年、両親と兄、弟との５人暮らし。自分の性格を、負けず嫌いで、やりたいことをとことんやるタイプと分析。自転車は好きだが、転倒で負った擦り傷とともに入るお風呂が「しんどい」とおどける。最近見た映画は「トップガン」「ワイルドスピード」。モットーは「筋肉しか信じない」。

３月26から29日まで大分県で開催された第47回全国高等学校選抜自転車競技大会・男子個人ロードレースの部で８位入賞した大澤礼寛さん。「選抜大会での入賞を目標に、冬からずっと練習してきました。気温がマイナスでも自転車を走らせてきたので嬉しい」と、これまでの取り組みの確かさをかみ締める。

自転車を始めるきっかけは、中学入学時にロードバイクを買ってもらったこと。爽快感にハマり、３年の時にはレースにも出るようになった大澤さん。結果に手応えを感じると、進学先は自転車部がある高校を選んだ。半分趣味だったこれまでと違い、毎日の自転車練習は「正直、きつかった」というが、１年生でいきなりインターハイの出場権を獲得。１年生での出場は非常にまれで、実力の片りんを示したものの、全国大会本番では「まったく歯が立たず悔しかった」と結果を振り返る。レベルの違いを痛感すると、次は絶対に全国入賞と奮起し、大会に向けて練習に取り組んだ。

雪国の選手にとって、春の大会は特に結果を出しにくいと言われる自転車競技。今大会での入賞を喜ぶチームメイトや関係者の姿に加え、何よりも家族に結果を褒められ、今までの努力が報われたと感じた。

ハードな練習を続けられたのは「全国で活躍するという気持ちで練習に取り組んだら、強くなっていくことを実感できたから」という大澤さんは現在２年生。今年、そして来年の目標はすでに定めているが、同じ目標を全国の選手も持っていることも理解している。「練習は自分との戦い。負けないよう目標に向かって頑張る」とひた向きなまなざしで高みを目指す。

約80㌔のレース途中、集団の前方でアタックのタイミングを伺う大澤さん

■編集後記

▽キラリの大澤礼寛さん。西根中３年時には、花巻での県駅伝に４走で出場。走った後は、バトンをつないだチームメイトに大声援を送っていた姿を私は覚えています。結果も大事ですが、仲間を大事にする姿勢が、後で自分に返ってくるんだなと、取材を通じて感じました。㊐

▽今月は GIGAスクールについて紹介しました。写真を撮りに、西根中にお邪魔しましたが、私の中学時代とは全く違った授業風景でとても驚きました。今や一人一台端末を持っている時代。私も社会の流れに取り残されないよう、情報収集を心掛けたいと思います。㊊

【広 告】

関節の痛み・変形、痺れ、生活習慣病

専門家が丁寧に診察いたします。

八幡平中央 整形外科・内科 クリニック

	月	火	水	木	金	土
	整	整	整	内	整	整内
8:45～11:30	●	●	●	●	●	●
13:45～17:30	●	●	—	●	●	—

整＝整形外科　内＝内科

八幡平市大更25-117-2　TEL.0195-76-2318

※広報はちまんたい６月６日号（No.348）の印刷経費は１部90.54円、発行部数は9,709部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、㈱総合広告社（☎019-626-3370）まで。

ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C103798

令和６年６月６日発行
〒028-7397岩手県八幡平市野駄第21地割170番地
■ホームページ https://www.city.hachimantai.lg.jp
■発行 岩手県八幡平市 ☎0195-74-2111 FAX0195-74-2102 ■編集 企画財政課
■印刷 川嶋印刷株式会社

広報誌はこちら